

長崎県・クアンナム省友好交流関係5周年学術シンポジウム

長崎とベトナムの交流

～日越交流のこれまでとこれから～



2023 / **2月5日(日)**

13:00 ~ 16:00 (開場 / 12:30より)

参加費無料

事前申込制

オンライン
定員**500名**
先着順

オンライン開催

※新型コロナウイルス感染症の対策のため、
オンライン開催のみとなります。予めご了承ください。

基調講演

日本とベトナム、とりわけ
クアンナム省との関係史概論

早稲田大学名誉教授 / 日本ベトナム研究者会議会長

白石 昌也



報告①

ベトナムの日本町
考古学的視点からの
研究

昭和女子大学名誉教授
日本ベトナム研究者会議会員

菊池 誠一



報告②

事例から見た
日越交流史

ベトナム国家大学
ハノイ校東洋学部准教授

ファン・ハイ・リン



パネルディスカッション

ファシリテーター

東京大学大学院教授 / 日本ベトナム研究者会議事務局長

岩月 純一



パネリスト

白石 昌也

菊池 誠一

ファン・ハイ・リン

元長崎市長崎学研究所長

土肥原 弘久



【主催】長崎県

【共催】日本ベトナム研究者会議

長崎県とベトナムとの交流は、今から約400年前の朱印船貿易が行われていた時代にまでさかのぼります。長崎の貿易商であった荒木宗太郎は、当時のベトナム中部の支配者の娘を妻として迎え、ともに長崎へ帰りました。このことは、長崎伝統の大祭長崎くんちの奉納踊として今も長崎の文化の中に根付いています。

そして昨今は、技能実習生や留学生として多くのベトナム人が長崎を訪れることで、ベトナム人と交流する機会が増えてまいりました。こういった中、2022年長崎県はベトナム中部の都市・クアンナム省と友好交流関係を締結して5年目の年を迎え、また2023年は日越外交関係樹立50周年となります。この節目に、過去、現在、そして未来の日越交流を考えるシンポジウムを開催いたします。



出演者の プロフィール



白石 昌也

早稲田大学名誉教授
日本ベトナム研究者会議会長

東京都生まれ。
東京大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。
大阪外国語大学助教授、横浜市立大学教授、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授を経て、2018年より早稲田大学名誉教授。1999年にはフエ宮廷音楽伝承事業の功績によりベトナム政府（文化省）より文化戦士徽章を受章。2019年には日越学術交流功勞に対して瑞宝中綬章を受章。



菊池 誠一

昭和女子大学名誉教授
日本ベトナム研究者会議会員

群馬県生まれ。
学習院大学・同大学院、筑波大学大学院修了、博士（学術）取得。1992年から95年まで、ハノイ総合大学（現ベトナム国家大学ハノイ校）へ留学。1999年、JICA 専門家としてベトナム・ホイアン駐在を経て、2000年から2020年まで昭和女子大学に専任教員として勤務。「ベトナム日本町の考古学」等多数執筆を行う。



ファン・ハイ・リン

ベトナム国家大学ハノイ校
東洋学部准教授

ベトナム社会主義共和国・ハイフォン市生まれ。
昭和女子大学卒業。
ベトナム国家大学ハノイ校にて歴史学博士号を取得。
現在、同校東洋学部准教授。専攻は日本史。



土肥原 弘久

元長崎市長崎学研究所長

長崎県長崎市生まれ。
長崎東高等学校を経て、大分大学経済学部卒業。
長崎市役所に入庁し、シーボルト記念館長などを歴任。
KTN テレビ長崎において、くんち解説者を務める。



岩月 純一

東京都生まれ。
日本ベトナム研究者会議事務局長。
東京大学大学院総合文化研究科教授。
専攻は社会言語学、近代東アジア言語政策史。



新美 達也（総合司会）

愛知県生まれ。
日本ベトナム研究者会議副総務委員（副事務局長）。
名古屋学院大学経済学部准教授。
専攻は開発経済学、ベトナム地域研究。

お申込み方法 申込×切2月1日(水)

オンライン
定員**500名**
先着順

右記QRコードもしくは下記URLより、お申込みフォームへ進み、必要事項をご記入の上、お申込みください。（URL：<https://onl.tw/FgjKbDK>）
※登録後、招待メールをお送りいたします。
※頂いた個人情報、本シンポジウム開催以外の目的には使用しません。
※当シンポジウムを録画またはスクリーンショット等することは、禁止させていただきます。



【問い合わせ】

長崎県国際課 TEL：095-895-2081 FAX：095-827-2487
Eメール：S380502@pref.nagasaki.lg.jp



一般財団法人
自治体国際化協会

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。